

初任者研修

研修所で行う研修
(第3回)

リフレクション通信

兵庫県立教育研修所

第3回は、第2回のオンライン研修での講義内容を踏まえて、小学校は算数科、国語科、特別の教科 道徳について、中学校は各教科の授業づくりと特別の教科 道徳について、授業づくりに関する演習を実施しました。各教科で子ども達に身に付けさせたい力を明確にし、模擬授業や板書計画、タブレット端末の活用を通して、子ども達の思考を深め、ねらいに迫る授業づくりの在り方について考えました。

小・中学校共通

【特別の教科 道徳授業づくり】

○研修に向けて

- 普段の授業では、いつも指導書通りで同じパターンの流れで行ってしまうことが多いです。子ども達の心を揺さぶり、自分事として考えさせる授業を行うために、今回の演習からしっかりと授業づくりについて学びたいです。
- 問い返しがうまくできずねらい（道徳的価値）に対して、子どもの考えを深められなかったり、考えを広げられなかったりします。子ども達から様々な考えは出てきているので、子ども同士で考えを深められるような授業をしたいです。そのために、考えを広げる問い返しや、考えを深める問い返し、また予想外の考えが出てきた時の返しなども身に付けたいです。

○研修の振り返り

- 中心発問では、子ども達の意見を聞くだけでなく、さらに深められるような補助発問や問い返しが大切だということが分かりました。これからの授業実践では、子ども達の考えを受容しながら、一人ひとりが考え、深められるような授業をしていきたいと感じました。
- ねらいに迫る子どもの姿を明確にすることで、中心発問を考える方法を今後もやっていきたいと感じました。また、子ども達の発言をしっかりと想定し、ねらいに迫るための補助発問を考えることがとても難しかったので、授業をする中で力を付けていきたいと思いました。
- 中心発問をどのように展開して子ども達から思いを引き出していくのか、対話で深めていくために教師側ができる板書や受容や揺さぶりなどの仕方を学ぶことができました。また、模擬授業に取り組みましたが、板書の仕方や子ども達の発言をどのように繋げればいいのか、振り返るとたくさんの課題があり、一つ一つの課題を克服していけるように教材研究などもしっかりしていきたいと思いました。

小学校

【国語科授業づくり】

○研修に向けて

- ・物語文では、登場人物の心情や気持ちの変化を追いながら、子ども達の考えから読みを広げられるように取り組んでいます。教える側の読みを子ども達に押しつけていないか不安があるので、今日の演習で授業づくりの基本を学びたいです。
- ・子ども達の多様な意見や考え方を引き出すための発問の工夫について、本研修を通して自分なりに学びを得たいと思います。

○研修の振り返り

- ・板書計画を通して、子ども達の思考をつなげる授業づくりについて考えました。同じ場面でも、様々な板書の工夫があって参考になりました。めざす子どもの姿を明確にして、目の前の子ども達に応じた発問や指導ができるようになりたいです。グループの仲間と一緒に考えることで、自分の考えが深まったり、新たな視点を明確にしたりすることができました。
- ・今回の叙述を基に心情の変化を考えるという授業は、文章のつながりを意識しないといけないので、事前に教員がどれくらいの深さまで文章に入るのか決めておく必要があるなと思いました。情景描写が多く出てきましたが、有効なものをあらかじめ決めておいて子ども達に文章を読ませていきたいと感じました。



Jamboardの付箋機能を用いて、場面ごとの心情を整理

【算数科授業づくり】

○研修に向けて

- ・「発問を明確に、厳選して、分かりやすく」を日々、心掛けて授業をしています。グループの先生方と授業構成を考えながら、子ども達の理解が深まり、主体的に取り組めるような発問の仕方について学びたいと思います。
- ・子ども達の思考をあまり深めることができないままに授業を進めてしまっていることが不安です。子ども達の考えをつなげたり、まとめたりするのが難しいなと感じているので、今回の研修で学びたいと思います。

○研修の振り返り

- ・一番苦手だと感じている集団思考について考えることを通して、自分の中で明確にゴールを設定しておくことで声かけも変わってくるということがよく分かりました。タブレットは、メリットデメリットあるかと思いますが、子ども達の思考を深めるためにどのツールが有効かという視点で吟味したいと思いました。
- ・めざす子どもの姿が具体的で明確であるならば、学習活動もぶれることなく行えることが分かりました。また、導入の段階で「前の時間とどこが違う？」や「どこが難しくなっているかな？」、「どうやったら解けそうかな？」などと問うことで子ども達が前時までの内容を振り返り、本時の見通しを持って、主体的に学習に取り組めることが分かりました。



思考を深める場面の模擬授業

中学校

【国語科】

○研修に向けて

- これまでの研修ではめあて、言語活動について考えてきましたが、自分の中で、実際の子どもの姿を想像して授業を組み立てるところまで進められていません。実態に応じ、効果的な指導ができるよう研修でヒントをつかんで自分のものにできるようにしたいです。

○研修の振り返り

- めあてと関連する展開部分や言語活動を考えることは難しかったですが、グループワークを通して新しい視点を得ることができました。「リーフレットを作ろう」の活動では、ねらいが見えていないまま活動する難しさをわざと体験することで、より子ども達の目線で考えることができるようになりました。ねらいが伝わり、子ども達が考えていきたいと思える授業の組み立て方を今後の実践を通して、学んでいきたいです。

【社会科】

○研修に向けて

- 毎回の授業で、子ども達に「問い」を提示するのですが、難しすぎるかなと感じています。授業の中で、子ども達が困惑している姿を見るので、具体的にどう改善すれば良いか悩んでいます。中学生というステージでの適切な問いについて考えを深められたらと思っています。

○研修の振り返り

- 「対話」の対象が人だけでないことに全く気付いていなかったのが、大きな気付きとなりました。子ども達同士で話し合ったり発表したりする時間を確保すると、どうしても時間がかかってしまうので、授業内に組み込みづらかったのですが、授業アイデアの幅が広がりました。

【数学科】

○研修に向けて

- ねらいを具体的な子どもの姿でイメージし、普段の授業のめあてや内容を考えるようになり、授業づくりのイメージもしやすくなりました。一方で、子どもの姿を考える上で、子ども達は一人一人違うため、どうしてもなくなっている場面があり難しさを感じています。

○研修の振り返り

- 今回の研修では、間違っただ意見を上げて検討することも取り入れました。子ども同士でどうすればいいのか、どこがどう間違っているのかを考えさせることは、その先の学びにつながると思うので、子ども達の間違いに出会ったとき、検討する時間をとってみたいと思います。また、個別学習、班学習、一斉学習とそれぞれ何を重視するかを考えて授業づくりをしていきたいです。

【理科】

○研修に向けて

- ・前回に引き続き、授業のつくり方について他の先生方との話し合いを通して学びたいです。めあてやまとめが重要であることは理解しているものの、まだ子ども達の興味を引きつけられるようなめあてや、1時間で学んだことが振り返られるようなまとめをすることができていないと感じています。

○研修の振り返り

- ・前半に実験における危険性について考える活動を行い、自分自身の頭になかった発想を他の先生方から学んでもっと視野を広げて安全な実験ができるように取り組んでいきたいと感じました。特に、事前の準備で怠っていた部分があるので、安全な実験をするために意識していきたいと思います。

【音楽科】

○研修に向けて

- ・鑑賞の授業の深め方、楽しく学ばせるための工夫を知りたいです。
- ・音楽に苦手意識を持っている子ども達へのアプローチの方法を知りたいです。

○研修の振り返り

- ・めざす子どもの姿を明確に持つ時に、まだまだ子どもの姿を想定できていないなと感じました。鑑賞の授業をする時には、どの子どもも気付きがある授業にできるよう明確なめあてとそれに必要な手立てを考えていきたいと思います。
- ・他の先生方の意見を聞いて一つの型にとらわれず常に授業改善をしていく必要を感じました。今一度、初心に戻って自分の授業を見つめ直し子ども達が考え、深めていける授業をめざしたいです。



実際に歌ってみることで「めざす子どもの姿」をイメージ

【美術科】

○研修に向けて

- ・子ども達が造形的な見方や考え方を広げるために、教師が提示すべき内容についてさらに深めて学びたいと考えます。また、そのための鑑賞の時間の扱い方について、どのように行えば効果的であるかを知りたいと考えます。

○研修の振り返り

- ・研修での意見交換を通じて、導入部においても様々なアプローチの仕方があること、自分一人では気付けない視点からの切り口があることを学びました。考えさせたいことや、気付かせたいことを教員が明確に持ち、鑑賞や生活に結び付けた声かけなど選択し示していきたいと考えます。

【保健体育科】

○研修に向けて

- ・めあての達成に向けた学習過程での取り組みのポイントを学びたいです。また、普段話し合いの時間と運動量のバランスがうまくとれないことが多く、1時間を通して目標達成につなげられていないことがあるので工夫する点や重きを置くポイントについて学びたいと思います。

○研修の振り返り

- ・運動量を確保するためには、事前準備を行うことや、課題別トレーニングで運動量を確保しておくという例を知ることができたので実践していきたいと思います。また、教える側が答えを示すばかりではなく、子ども達自身に何を考えさせたいのかを明確にして発問できるようにしていきたいです。タブレットもグループワークで活用していきたいです。



実技を通して、思考を深めさせる指導方法を検討

【技術・家庭科(技術分野)】

○研修に向けて

- ・先日、研修を通して学習した『両刃のこぎりの特徴』に関する授業を行いました。その結果、子ども達はのこぎりの刃の形の違いや刃先が左右に振り分けられている「あさり」のことに気づき、更にあさりはどのような役割があるのかについても、子ども達自身で考え抜くことができました。しかし、安全面の指導を丁寧にしたいと思い、実際に切断はさせませんでした。

○研修の振り返り

- ・めざす子どもの姿に迫るために、どのような発問や指示、そして予想される反応やそれに対するつまずきの手立てを初任者の皆さんと考えることができました。今後の教材研究をするときには、本日の研修を生かし、実際の子どもの姿を明確にイメージしながら安全に、最善の方法が選択できるように取り組みたいです。

【技術・家庭科(家庭分野)】

○研修に向けて

- ・全ての子どもが授業に関心を持って臨めるような手立てや支援、授業の工夫を考えていきたいです。
- ・授業の進行の仕方や効果的なタブレットの活用について学びたいです。

○研修の振り返り

- ・導入の方法が、パターン化してしまっていたので、他の先生方の方法を知ることができ、たいへん参考になりました。人によってどこに重点を置き、どこに時間をかけるのかも様々で、これが正解というものはないけれど、教科書に載っていることは抜けないように努力したいです。また、子ども達の興味関心を引くような資料や動画、写真なども活用していきたいです。グループワークの導入や、ワークシートの活用、ICT活用など様々な意見をいただけたので、今後生かしていきたいと思います。

【外国語科】

○研修に向けて

- ・言語活動について、もっとアイデアやヒントを頂けたらと思います。前回の研修を受けて、授業の初めに文法の復習として英作をさせて、それについて1分間ずつフリートークをする時間を設けています。まだまだ慣れない中で、且つ語彙力もない中でのフリートークは難しいと思いますが、子ども達が抵抗なく英語を話せるようになるためのヒントを頂きたいです。

○研修の振り返り

- ・意味は分かるが単語が書けない子どもへの支援方法や単語が書けるが英作文が書けない子どもへの支援について理解が深まりました。また、子ども達の実態や対応などについて班内外を越えて理解することができました。帯活動やアクティビティを通じた文法導入、理解が効果的であること、対話を充実させ、生徒が主体的に考え表現することができる場面の設定が必要であることが分かり、先生方のあらゆる手法をこれからもっと聞いて、自分自身の実践に取り入れていきたいと感じました。

研修の様子

「特別の教科 道徳授業づくりのミニ模擬授業」の様子



本時のねらい、内容項目を確認した上で、ねらいに迫る子どもの姿を出し合いました。

ねらいに迫る子どもの姿を踏まえ、班ごとに中心発問を設定し、子ども達の想定される発言やそれに対する問い返し、補助発問を考えていきました。

その後、教師役、子ども役、撮影係に役割分担してミニ模擬授業を行いました。



ミニ模擬授業後の振り返りの様子です。撮影係がタブレット端末で撮影した動画を基に、中心発問が適切であったか、子ども達の発言を十分に受容できていたか、問い返しや補助発問についての吟味などを協議しました。ミニ模擬授業はたいへん盛り上がりました。それ以上に、振り返りでねらいに迫る授業の在り方について真剣に協議する初任者の皆さんの表情が印象的でした。